

「かながわ高齢者福祉研究大会の開催」今年も節目の第十回

高齢者福祉の最前線をつながわから発信したい、という願いから「かながわ高齢者福祉研究大会」が生まれ、このたび第十回という節目の大会を迎えます。

これまで、多くの高齢者福祉従事者や教育関係者等の熱意に支えられ、過去九回の大会の中で延べ千三百三十五題の発表が行われてきました。昨年度の大会では、高齢者福祉施設での導入例がまだ全国的に少ない「タクティールケア」（タクティール＝ラテン語で「触る」の意味）

を題材にした発表や、職員の意識改革・スキルアップを図るべく、施設全体で研修等に取り組む様子を紹介した発表が多く参加者の注目を集めました。

その中でも、ここ数年は福祉分野の喫緊の課題となっている、「人材確保・育成・定着」に関わる発表が増加の傾向にあります。今大会も例外ではなく、およそ百六十題の発表の申し込みがある中で、職場内研修の充実やキャリアパス構築の実践例などをテーマにした発表が寄せられており、関係者の関心の高さをうかがうことができます。

また、施設関係者からは、この大会で発表すること自体が職員の経験となり、人材育成の場となっていること、発表を行った学生ならびに教員からも、就職をする前に現場の目線に近づく学びの機会として活用している等、本大会への期待も多く寄せられています。これら関係者の声からは、「人材確保・育成・定着」という枠にとどまらず、本大会のさらなる発展を遂げていこうとする原動力と、高齢者福祉に携わることへの熱意を感じ取ることができます。本年度からは、研究発表のさらなる

質の向上を図るべく、優秀な発表を表彰する制度を設けました。「研究の価値性」「内容の客観性」「内容の正確性」「発表演題の妥当性」「プレゼンテーション能力」の五つの観点から審査が行われ、優秀な発表には「優秀賞」が授与される予定です。

さらに、従来のプレゼンテーション形式のほかに、介護の技術を実演するという実技型の研究発表も新たに導入します。各施設で実践している介護技術を発表し、お互いに刺激し合うことで、優れた技術の共有化や資質の向上を図り、自らの介護の振り返りの場になることを期待しています。

そのほかにも、介護・福祉分野の有識者を招いての講演会、協賛企業による福祉用具・器具等の紹介コーナー、県内法人による施設紹介・就職相談コーナーを設置します。昨年度の大会で多くの人が関心を寄せた、本会かながわともしびセンターによる「自助具」の紹介コーナーも設置の予定です。かながわの高齢者福祉・介護福祉の最前線を、大会への参加を通してぜひ体感してください。

（社会福祉施設・団体担当）

日程 平成23年7月5日（火）9時30分～17時まで
会場 パシフィコ横浜 会議センター3～5階
 （受付は2階エントランス前）
参加費 高齢者福祉施設・介護保険事業所等の職員 5,000円
 介護福祉士養成校等の学生および教育関係者 無料
 施設利用者、家族等、高齢者福祉に関心のある方*お問合せください

大会ホームページ <http://www.kanagawafukushitaikai.jp/>
大会プログラムに関するお問合せ先 ☎045-311-1424
 （社会福祉施設・団体担当）
大会の参加申込に関するお問合せ先 ☎045-641-4166
 （名鉄観光サービス横浜支店）

テマ		演題数
施設系	食事・栄養・口腔ケア	12
	排泄・入浴ケア	9
	認知症ケア	10
	ターミナルケア・医療との連携	16
	安全管理	7
	アクティビティ・リハビリ・レクリエーション	24
	ケアプラン・相談援助	3
	ユニットケア・グループケア	8
	人材育成・業務改善と効率化	23
	その他（施設系）	15
在宅系	地域密着（グループホーム）・小規模多機能	2
	地域包括支援センター	8
	デイサービス	12
	訪問介護・居宅介護支援	8
	養護・軽費・ケアハウス等	2
その他（在宅系）	1	
合計		160

平成23年7月5日開催の第10回大会研究発表申し込み状況（3月8日現在）